

2025年8月26日

各 位

会 社 名 ヤマシタヘルスケアホールディングス株式会社  
代表者氏名 代表取締役 執行役員 社長 山下 尚登  
(コード番号 9265 東証スタンダード市場)  
問 合 せ 先 取締役 執行役員 吉田 弘幸  
(TEL 092-402-2922)

## 新物流センター構想に関するお知らせ

当社グループの山下医科器械株式会社(以下、同社)が進める「新物流センター構想」(2024年3月29日開示)について、以下進捗をお知らせいたします。

記

### 1. 本構想について

同社では、物流体制の強化と業務効率の飛躍的な向上を目指し、先進的な物流センターの整備を推進しています。本構想は、将来的な事業拡大を見据えた物流インフラの抜本的な刷新であり、地域経済における医療物流のハブとしての機能強化を担う、極めて重要なプロジェクトとして位置づけております。

### 2. 現在の進捗

前回の構想開示以降、建設資材の高騰や人手不足の深刻化、人件費の上昇など、社会的なコスト増加の影響を受けつつも、同社は効率化と省人化に重点を置いたセンターの在り方を模索してきました。具体的には、自動倉庫や搬送ロボット、倉庫管理システムなどのマテリアルハンドリング機器を積極的に導入し、自動化による業務効率化と労働環境の改善を両立させる物流体制の構築を進めています。

また、この新センターでは、取扱物量の増加に対応できる高度な物流ラインを整備し、数多くの SPD※導入医療機関への多品種・少量供給にも柔軟に対応可能な体制を構築してまいります。

※SPD(Supply Processing and Distribution)とは、医療機関に代わって医療材料の調達・在庫管理・供給を一括で担うサービスです。これにより、病院の物品管理業務を効率化し、医療従事者が本来の業務に専念できる環境づくりを支援します。

### 3. 今後の展開について

同社は今後、新鳥栖 TMS センター(仮称)設備の施工、およびマテリアルハンドリング機器の導入にあたっての計画詳細を順次策定、関係各所と緊密に連携しながら段階的に計画を進行しており、2026年度中の稼働を目指しています。

なお本構想は、同社が2026年8月に迎える創業100年を契機とした「次の100年」に向けた中核投資の一つでもあり、物流体制の刷新とともに、業務効率や物流品質の更なる向上、ならびに従業員の労働環境改善を実践していきます。

同社は引き続き、効率的かつ持続可能な物流体制の構築を通じて、取引先の皆様への安定供給とサービス品質の向上に努めてまいります。今後とも、当社グループに対するより一層のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、新物流センターに関する情報は、進展があり次第、適時開示いたします。

以上